

お口のくち

健康情報室

歯を失った際に、かみ合わせや口の機能を維持するために、取り外しのできる入れ歯を作る必要があります。しかし、初めての場合は使い方や手入れの方法に戸惑うことが多いです。今回は、入れ歯との付き合い方について案内します。

新しい入れ歯を装着した当初は、違和感があるのが普通です。装着時間を延ばすことで、だんだんと違和感は少なくなっていくます。「食べ物の味が分かりにくい」や「しゃべりにくい」といった訴え

入れ歯の痛み 医院で調整を

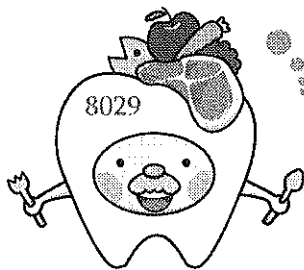
もよく聞かれますが、こちらでも入れ歯をつけた状態で食事をしたり、話し方を練習したりすることで慣れていきます。

ただし、入れ歯が強くだって痛む場合は、だいたいの場所を確認した後、無理に装着せずに歯科医院で調整してもらってください。自分で入れ歯を削ったり、市販の義歯安定剤を用いたりして無理に使っていると、かみ合わせが狂ったり義歯が破損したりする原因になります。義歯安定剤の使用に関しては歯科医に相談してください。

入れ歯を長持ちさせるためには、適切なお手入れが欠かせません。清掃には専用のブラシや洗浄剤を使うことがおすすめです。入れ歯を外した

後、お口の中を清潔に保つことも重要です。部分入れ歯のパネがかかる歯や、義歯の床で隠れる部分は特に不潔になりやすいので注意して歯磨きしましょう。

定期的にかかりつけの歯科医院で診察を受け、入れ歯の状態を維持しながら、毎日の生活をより豊かに過ごしましょう。(千葉県歯科医師会)



「8029運動」PRキャラクター もべい